

JA全農式トロ箱養液栽培システム

遊休ハウス
活用術

ういず

One

開発目的

トロ箱養液栽培システム‘ういずOne’は、「**水稲育苗ハウスや遊休ハウスなど有効活用**」を目的に、**栽培管理が容易で、安価な栽培システム**をつくることを目的にJA全農がパッケージ開発しました。



育苗時期
(冬～春)

パッケージ内容

- ① 灌水制御機(ミニシステム)および灌水資材
- ② プラスBOX(隔離栽培槽)
- ③ 養液栽培用肥料
- ④ 培土



活用時期
(夏～冬)

ういずOneの概要

- 1 発泡スチロール箱の栽培槽を用いた養液栽培で、設置・移動が容易、導入コストが安価なパッケージです。
- 2 ① 設置場所を選ばず、② 規模面積も自由、③ 設置仕様は単純、④ 自主施工でコスト抑制可能、等の特長があります。



全農



‘ういずOne’ パッケージ内容

ミニシステム、灌水資材

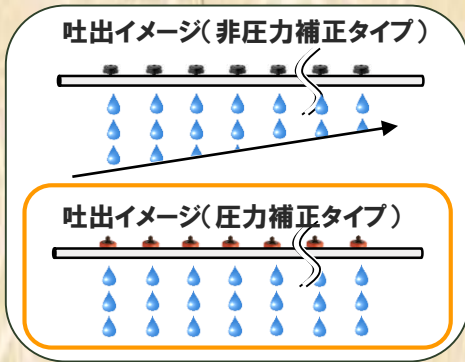
(ネタフィルム ジャパン(株)製品)

【ミニシステム(灌水制御機)】

- ・制御装置は電池で作動するため、配電設備が不要。
- ・水源は、検査に合格した一定の水質・水圧・水量が必要。

【灌水資材(ポットドリッパー圧力補正タイプ)】

- ・圧力損失による水圧低下を防ぎます。
- ・適用水圧内で1時間あたり2Lの吐出量に制御します。



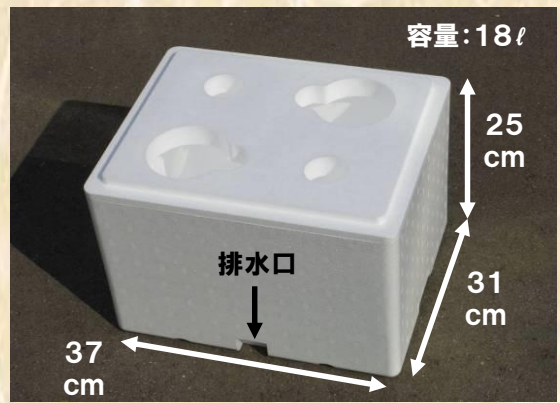
プラスBOX(隔離栽培槽)

(JA全農と(株)羽根による共同開発商品)

- ・発泡スチロールによる断熱効果により、夏期高温時期の根域温度上昇を防ぎます。

- ・蓋のリバーシブル仕様による、作毎の定植位置の変更が可能です。

- ・隔離床栽培により土壌病害・塩害・冠水の影響を受け難いです。



養液栽培専用肥料

アクワタンクA・B

全農オリジナル品

【1液式】～省力タイプ～

- ・タンク1つで施肥ができます。
- ・液肥作成の手間が省力できます。



+



アクワン(AQUONE) + 硝酸石灰

全農オリジナル品(KCA(株)販売)

全農取扱単肥

【2液式】～低コストタイプ～

- ・肥料コストが安価です。
- ・2つの養液の混入率の調整ができます。



+



JA全農式ト口箱養液栽培システム‘ういずOne’について、
不明な点がありましたら最寄りのJAにご相談下さい。

